

「ダブル技研株式会社」取材レポート

経営学部 西村優希 (所属:田中ゼミ)

工学部 中島竜也 (所属:山崎研究室)

◎ はじめに お客様に「+(プラス)」を届ける

ダブル技研株式会社様(以下ダブル技研)は半導体業界・自動車業界・電機業界・精密機械業界等々の自動化・省力化・量産化設備の提案・開発から製造・販売まで一貫して関り、その業界での実績を基に大学や研究機関などへ実験・実証機器等を、福祉業界での新商品・システムの提案・開発・製造・販売、更には共同研究開発も行っている会社です。オンリーワン商品の開発力と提案力によりお客様に「確かな技術で生産性にプラス」、「納得の提案力でアイデアにプラス」、「心と心のアシストで生活にプラス」を届けています。このたびは社員の方に話を伺いました。

◎ 会社の主力製品・技術を教えてください。「D-Hand」・「ノウハウ」

ダブル技研の主力製品は D-Hand です。これは安定してモノをしっかりと掴む動作を可能とする汎用性を持つマルチ・ロボットハンドです。D-Hand は5指型と3指型の二種類があり、それぞれカスタマイズ可能なつくりになっています。つまり、様々なニーズに対応可能といえます。また、ダブル技研は提案・設計から製作・組立までの工程全てを自社で完結させることのできるノウハウを持っています。このノウハウは、画期的なオンリーワン商品・サービスの開発を可能にします。社員の方は社員一人ひとりが高い向上心を持っているからこそできることだと仰っていました。

◎ 主力製品のおもな売り先を教えてください。 自動化による安心・安全

D-Hand は様々な分野で活躍していますが、主に自動車関連と食品関連が多いです。ラインでの部品組立やピッキング作業として活用できます。D-Hand は安全に作業を進めたいラインで活用され、低コストで確実な仕事をしています。作業場での人による作業は、不良品を発生させてしまう事態に至ることもあります。私たちが日常生活上のものを安心して使用できるのは、ダブル技研のような安全で確実な仕事の上に成り立っているのです。

◎ この展示会でアピールしたいものを教えてください。 潜在的ニーズにお応えします

やはり D-Hand の技術力です。D-Hand の最大の特徴は、駆動源を一つにしたことです。通常はハンドの関節ごとにモーターをつけることですが、これを一つにし、軽量・小型化と制御の容易性を実現しました。また、指の曲がり方や力の入れ方などに工夫を重ね、硬さや形状にとらわれず、対象物になじむことも特徴の一つです。コストも抑えられ企業が導入しやすくなっています。

◎ 会社における展示会の位置づけについて教えてください。 うちを知ってください

展示会には年にロボット事業は2~3回程度、福祉事業5~6回程度参加されています。ダブル技研は、展示会を情報発信の場ととらえているようでした。企業自体、軌道に乗ってまだ間もないのが現状です。しかしながらダブル技研の製品は、確実にニーズに応え始めています。汎用性があるロボットを知ってほしい、それを可能にする技術力を知ってほしい。来場者の一人でも多くの人にダブル技研の素晴らしさを届けようとしていました。

◎ **展示会で成果を出すために取組まれていることを教えてください。 他とは違う何か**

ダブル技研は展示会で来場者の目に留まる工夫をしていました。展示会で PR の場として設けられたブースは広く、その場に設置された数々のロボットは、それぞれの動きを見せてくれました。しかし他の企業と比べ、ダブル技研が行っていたことは、ロボットが掴んでいるものが特徴的だということです。展示会では親しみのあるキャラクターの形をしたものを掴んでいました。また、パンフレットにはバナナやじゃがいも、風船、人形をロボットが掴んでいる写真が掲載されました。社員の方は目に留まった時に、瞬時にイメージが膨らむような工夫だと仰っていました。

◎ **展示会での成果(受注事例、効果、メリット)などを教えてください。 広がる可能性**

見本市では来場者から「このような製品が欲しかった」などの反応があり、製品化に踏み切ることもありました。製品は受賞したり、ユーザーから感謝の言葉をいただいたり、取材などが増えることで社員のモチベーション向上につながりました。「神奈川ビジネスオーディション 2013」にて神奈川工業技術開発大賞を受賞しました。このことはダブル技研が大きく変わるきっかけとなるでしょう。2000 年に同奨励賞を受賞した際は、開発試作・福祉分野への事業領域を広げられました。今後のダブル技研の活躍が期待できます。

◎ **インタビューを終えて 挑戦**

今回、インタビューに対応していただいた社員の方には、懇切丁寧に質問に答えて頂きました。ダブル技研は「社会貢献」という言葉がピッタリ当てはまるような印象を受けました。「何か人の役に立ちたい」、信念とも言える熱いものを感じました。開発試作や福祉等で他にないものをこの世に誕生させてきたダブル技研の企業の色は、今後も周囲を驚かせる期待感を高めます。社員の方は学生へ「たくさん失敗しなさい」と、メッセージを残していただきました。学生のうちにしかできないことはたくさんあります。そこには、興味を持ったことにどんどん挑戦して、価値観を深めてくださいという意味が込められていました。お忙しい中お時間をいただきありがとうございました。

◎ **会社概要**

会社名	ダブル技研株式会社
HP	http://j-d.co.jp
所在地	神奈川県座間市栗原 920-7
電話	046-206-5611